アパリは、依存症からの
回復を支援します。

APARI
ASIA-PACIFIC ADDICTION
RESEARCH INSTITUTE

特定非営利活動法人 アジア太平洋地域アディクション研究所

# アパリのミッション

NPO法人アパリは、2000年に薬物依存症リハビリ施設「ダルク」のシンクタンクとして設立。政府・行政機関、リハビリ施設等の民間団体と連携しながら薬物依存者の回復支援を行なっています。従来の医療・司法システムの考え方にとらわれず、国境を越えて、アジア太平洋地域におけるアディクション（依存症）問題を抱える本人や家族に対し**「休息が必要な人には休息を、知識が必要な人には知識を、仲間が必要な人には仲間を」**を理念に回復をサポートしていきます。

(左から)志立玲子、近藤恒夫、尾田真言

## NPO法人アパリ 創設者
## ダルク 創設者 近藤 恒夫

**プロフィール** | ダルク創設者。元刑事被告人で薬物依存症者本人。

1985年　東京日暮里にダルクを設立。現在全国に約100施設にダルクが拡大。
1995年　第9回東京弁護士会人権賞受賞
2000年　第35回吉川英治文化賞受賞
2009年　JICA（国際協力機構）草の根協力支援型プロジェクトマネージャー
2009年　法務省矯正研修所東京支所（講師）
2011年　龍谷大学矯正・保護総合センター（嘱託研究員）
2013年　第4回作田明記念財団最優秀賞受賞
2022年　2月　死去

著 書『真冬のタンポポ　覚せい剤依存から立ち直る』双葉社(2018) 他

## アパリの沿革

アパリの正式名称は、特定非営利活動法人 アジア太平洋地域アディクション研究所です。その英語表記のAsia-Pacific Addiction Research Instituteの頭文字APARIからアパリという略称を用いています。

アパリは2000年にダルク創設者である近藤恒夫により設立されました(初代理事長は故・ロイ・アッセンハイマー神父)。民間の薬物依存症者のリハビリ施設であるダルクは1985年に東京都荒川区に設立され、国内外含め約100の施設を持つに至っています。またアパリの入るAICビルは、クリニックや、デイケアなどの複数機関が統合された施設です。依存症の当事者や、そのご家族があちこちの機関へと振り回され疲労するなか、回復を逃してしまう、そのようなことを避け、1ヵ所で対応することを可能にすることが、この施設の特徴です。また、設立当初より、群馬県藤岡市に藤岡ダルクを運営しています。

### 役員紹介

■ **理事長　尾田 真言**(おだ まこと)
中央大学大学院法学研究科博士後期課程を経て現職、アパリ創設期からのメンバー
条件反射制御法学会理事、国士舘大学法学部非常勤講師、刑事政策専攻

■ **副理事長　山本 大**(やまもと まさる)
2006年よりNPO法人アパリ 藤岡ダルク 代表、一般社団法人 AREA代表理事、韓国ソウルダルク顧問、JICA草の根技術協力事業としてフィリピン貧困層の薬物依存症者への支援に従事。
2022年よりJICA国内支援委員会委員

■ **理事　島田 尚武**(しまだ よしたけ)
元警察庁長官官房国際部長
元JICA(国際協力機構)監事

■ **理事　加藤 隆**(かとう たかし)
NPO法人八王子ダルク 代表理事
1997年から2年間ダルクでの回復プログラムを受け終了し、2007年NPO法人東京ダルクに入職。2011年より東京ダルク八王子施設長を経て2015年より現職。国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部・科研費研究員、東京都立多摩総合精神保健福祉センター/非常勤相談員

■ **理事　髙橋 洋平**(たかはし ようへい)
弁護士(東京弁護士会)、髙橋洋平法律事務所代表、アパリ嘱託研究員、中央大学法科大学院実務講師、龍谷大学犯罪学研究センター嘱託研究員、医療法人社団アパリ監事、ダルク顧問、やっかれん顧問

■ **監事　鈴木 尚**(すずき たかし)
2003年税理士登録、2004年すずき会計事務所所長
1999年から薬物依存症者の兄弟パートナーの自助グループGOODBOXに参加。
2018年アパリ監事就任、アパリ創業時から税務顧問を務める。

■ **顧問　横田 尤孝**(よこた ともゆき)
中央大学法学部卒業
東京地検検事、司法研修所教官、最高検検事、奈良地検検事正、法務省保護局長、法務省矯正局長、広島高検検事長を経て最高検次長検事。退官後に、最高裁判事を歴任。旭日大綬章 受章(2015年)
現在 弁護士(第一東京弁護士会)

### 事務局紹介

■ **事務局長　志立 玲子**(しだち れいこ)　2003年アパリ入職　リーガルソーシャルワーカー、精神保健福祉士、公認心理師、NPO法人日本ダルク監事、認定NPO法人ワンデーポート監事、一般社団法人回復支援の会理事、早稲田大学社会安全政策研究所招聘研究員

## アパリの活動

### 1 司法サポート
薬物事犯で逮捕された方に回復の道筋を設定するためのコーディネートを行っています。 (詳しくはP3を参照)

### 2 ダルク マッチングサポート
薬物やアルコール、ギャンブルなどの問題でお困りの方、依存症の相談に携わっている方、また薬物事犯で逮捕された方、受刑中の方に向けて、その人に合ったダルクを紹介する事業を行っています。

### 3 施設運営
藤岡ダルク(群馬県藤岡市)の運営を行っています。

### 4 研究・啓蒙活動
ニュースレター「フェローシップ・ニュース」を隔月に発行しています。また、様々なセミナーや研修会を開催したり、国内外の法律・医学系の学会で研究成果を報告したり、情報収集をしています。

### 5 家族教室
毎月第1月曜日と月1回土曜日の夜に、薬物依存症者の家族のためのプログラムを東京本部で実施しています。

### 6 電話相談業務
薬物に関わる問題で苦しんでいる家族や本人からの電話相談を実施しています。

### 7 講演活動
法務省、内閣府、都道府県庁、精神保健福祉センター、病院等で講演活動を行っています。

### 8 国際協力活動
アジア地域において薬物依存症者の回復支援事業を行っています。回復の場がない人たちに日本の回復者たちが日本で培った回復のメッセージを届けます。

### 9 諸機関との連携
ダルク、医療機関、精神保健福祉センター、福祉事務所ならびに刑事施設、保護観察所など多くの機関と連携をとりながら活動しています。

### 10 薬物検査キットの販売
各種薬物検査キットを販売しています。

### 11 贖罪寄付
被疑者・被告人からの贖罪寄付を受け入れ、依存症回復支援のために有効に役立てています。

## 東京本部 司法サポート

# 「逮捕は更生のチャンス!」

アパリの司法サポートとは、刑事司法手続によって身柄を拘束されている薬物問題を抱える人たちに、一日も早くダルクや病院で薬物離脱プログラムを受けられる道筋をつくることです。

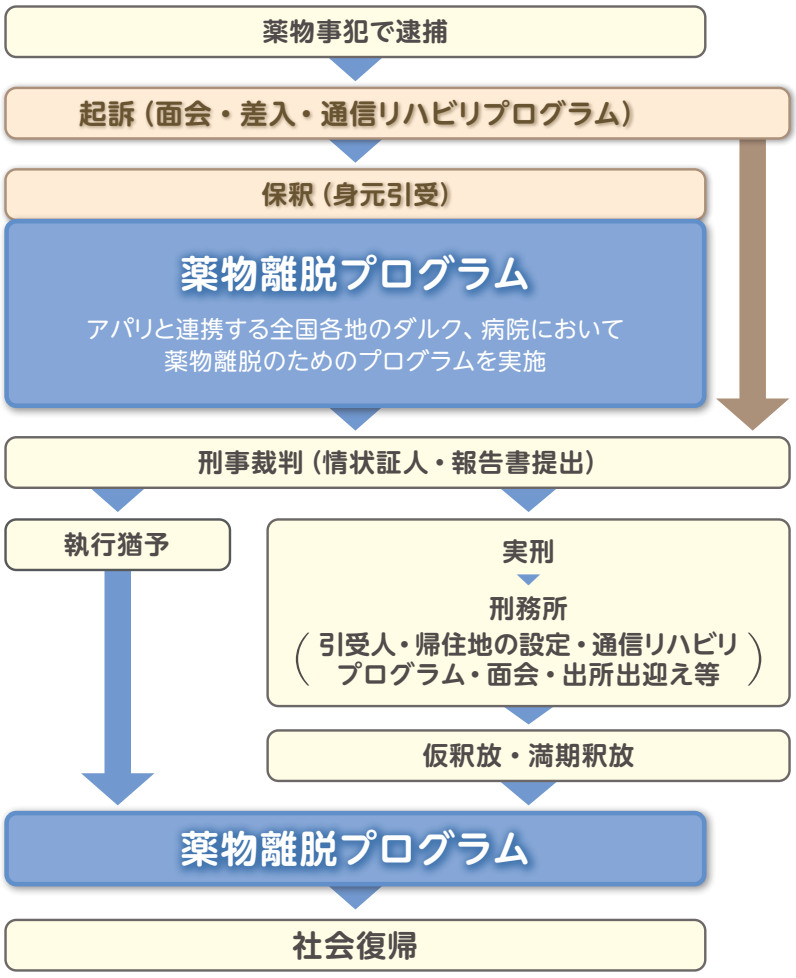
**逮捕されたときこそ、薬物問題から更生するチャンスです!** 長年の経験とノウハウを持つアパリには、薬物事犯で逮捕された方の支援実績が約500件あります。支援が困難な方であっても、決して諦めず、家族や弁護士とともに協力しながら更生に向けて誠実に対応していきます。

## 司法サポートの内容

- 面会(警察署、拘置所等)
- 保釈の上申書作成
- 保釈時の制限住居の設定(ダルクや病院等)
- 情状証人出廷
- 上申書作成
- 受刑中の通信リハビリプログラム
- 身元引受人の設定
- 受刑中の手紙のやり取りや面会
- 仮釈放(満期)出所出迎え
- 家族相談
- 家族教室の開催

ダルクのご紹介や、場合によっては入院治療をお勧めします。
また、証人出廷のみなどの部分サポートも行っています。
**逮捕された方と、そのご家族、弁護人からお申し込みできます。**

## 司法サポートの流れ




## ご利用料金

| | |
|---|---|
| トータルサポート料 | 20万円 |

| | | |
|---|---|---|
| 部分サポート料 | 面会▶1万円/1回 | 証人出廷▶5万円 |
| | 上申書作成▶5万円 | 保釈上申書作成▶5万円 |
| | 通信リハビリプログラム▶5万円 | |

※別途消費税がかかります。 ※遠方の場合は、別途交通費・宿泊費がかかります。
※この事業の一部は公益財団法人 日工組社会安全研究財団の助成金で運営しています。

## ダルク マッチングサポート

薬物やアルコール、ギャンブル等の問題で困っている方に向けて、アパリではダルクを紹介する無償のサービス「ダルクマッチングサポート」を始めました。

逮捕され警察署、拘置所にいる方、あるいは受刑中の方で、「ダルクに入寮してみたいけれど、どうすればよいのかわからない。」という方に向けて、その方に合った適切なダルクを紹介しています。本人、家族、弁護士、福祉事務所や相談機関などどのような方からの依頼も受けています。

## 家族支援

アパリでは薬物の問題で困っているご家族に対して個別相談と家族教室を実施しています。主に薬物事犯で逮捕されたご家族を対象にしています。

多くのご家族のみなさんは、身内の人が逮捕されたことで不安で夜も眠れないという経験をされています。アパリでは逮捕された本人を薬物依存からの回復の道筋にのせると同時にご家族も支援していきます。家族教室では、安心して何でも話せる場を提供し、同じ経験をしているご家族と分かち合うこともできます。

勇気をもって最初の一歩を踏み出してみませんか？

家族教室　会場

### プログラムの目標は次のとおりです。

1. **身体を健康にしましょう。普通に眠れて元気な身体を作りましょう。**
2. **心を健康にしましょう。生活に落ち着きを持てるようになりましょう。**
3. **社会での活動や人間関係を取り戻す準備をしましょう。**
4. **生きがいを取り戻しましょう。**

薬物依存症によるダメージや、薬物依存症についての理解、どんな特徴があるのか、家族自身のケア、また親子間の適切なコミュニケーション方法などを学んでいきます。

テキスト

● **連続講座**
（テキストを使った1クール8回のプログラム）
第1月曜日18:30～20:30

● **嗜癖（しへき）行動家族教室**
（精神科医による講演）
月1回土曜日17:00～19:00

参加費用 3,000円　　ご家族の場合は1家族4,000円

※この事業は東京都福祉保健財団の助成金で運営しています。

## 国際協力活動

フィリピンには約200万人の薬物依存症者がおり、首都であるマニラ首都圏では、薬物乱用が深刻な問題となっています。一部の富裕層や中間層のための薬物依存症治療システムは存在するものの、最も問題である貧困層に対する治療のノウハウやシステムはほとんど存在していません。さらに劣悪な環境では薬物依存症から脱することはできず、家族も問題を抱えてしまいます。

これまで日本が行ってきた薬物依存症回復支援は、日本独自で非常にユニークなものです。薬物依存症者は犯罪者であり、社会に必要のない人間として排除されていました。薬物依存症者に対して、医療や福祉はさじを投げる状況で、回復する資源のない環境からのスタートがベースにありました。この環境は現在のフィリピン、特に都市部貧困層の依存症者の状況に似ています。

ダルクは1985年から日本で最初の薬物依存症回復支援を始め、そのシステムを作り上げてきました。そこでアパリはそのノウハウを活かし、フィリピンの貧困層薬物依存症者の「生きる力」を引き出すため、当事者同士の助け合い、経験と回復を向上させるミーティングを普及させました。

マニラ貧困層地区

タタロンでのミーティング風景

● **活動実績：JICA（国際協力機構）草の根技術協力事業**
2009年5月～2012年3月「マニラ市貧困層における薬物依存症者に対する回復支援推進事業」
対象/フィリピン・マニラの貧困層

## 薬物検査キットの販売

アパリでは簡易薬物検査キットを販売しています。覚醒剤・大麻・コカイン・ヘロインなどを検出できるマルチタイプは、唾液検査キットと尿検査キットがあります。

検査の実施は、薬物を使用しないようにするための抑止力となります。さらに厳密な検査を希望される方のために、株式会社LSIメディエンスによる尿の確認検査を依頼するサポートも行っています。

早期発見
早期
治療を!

検査キット

**アパリではホームページにて検査キットを販売しています。**

こちらから購入してください。 https://npo-apari.myshopify.com

## 贖罪寄付のご案内

薬物犯罪など被害者のいない犯罪や、被害者との示談ができない刑事事件について、被疑者・被告人が反省の態度を示したり、不正に得た利得を社会に還元するための贖罪寄付を随時受け付けています。

事件への反省を込めてなされる贖罪寄付は裁判所から有利な情状として評価され、刑が軽減されることがあります。寄付金はアパリの活動資金として大切に使わせていただきます。贖罪寄付を受けましたら、領収証と感謝状を発行します。詳しくはアパリまでお問い合わせください。

**振込先**

銀 行 名：三菱UFJ銀行 笹塚支店
口座番号：普通 0929745
口座名義：特定非営利活動法人 アジア太平洋地域アディクション研究所
理事長 尾田 真言

# 藤岡ダルク

〒375-0047 群馬県藤岡市上日野2594　TEL.0274-28-0311／FAX.0274-28-0313
https://www.fujiokadarc.com

## 施設概要

藤岡ダルクはNPO法人アパリが運営する入寮型リハビリ施設です。

東京から車で約2時間、群馬県藤岡市に位置し、近隣にはゴルフ場や温泉、そして鮎釣りもできる美しい川があります。以前はホテルだったところを現在は施設として使用し、都会の喧騒から離れ大自然に囲まれた緑豊かな環境のなかで、薬物、アルコール、ギャンブル等のアディクション（依存症）が引き起こす問題を、様々なプログラムを通してアプローチし、「問題」を「解決」へと導き、「回復」の支援を行っています。

## ご利用案内

**入寮定員**

40名：男性のみ

**入 寮 費**

月額：13万円（初回月は14.5万円）　※別途消費税がかかります。
上記の他に本人に対しての生活費（1日1,000円）がかかります。
生活保護受給者も入寮可能です。

**入寮期間**

3ヵ月ごとにアセスメントを実施し、スタッフ若しくは家族等支援者を交えた面談を通して方向性を決めていきます。

※法務省の『自立準備ホーム』の登録をしています。

外観

ロビー

スタッフルーム

食堂

## 平均的な週間スケジュール

<table>
<tr><th></th><th>月</th><th>火</th><th>水</th><th>木</th><th>金</th><th>土</th><th>日</th></tr>
<tr><td rowspan="5">午前</td><td colspan="5">朝食</td><td rowspan="3">セルフ・<br>ケア</td><td rowspan="3">セルフ・<br>ケア</td></tr>
<tr><td colspan="5">9:30～9:50　清掃</td></tr>
<tr><td>ハウス・<br>ミーティング</td><td colspan="3">10:00～<br>11:00　ダルク・ミーティング</td><td>FUJIOKAARP</td></tr>
<tr><td colspan="7">11:00～　各役割作業時間とセルフ・ケア</td></tr>
<tr><td rowspan="6">午後</td><td colspan="5">昼食</td><td rowspan="3">ルーム<br>ミーティング</td><td>セクション<br>ミーティング1</td></tr>
<tr><td colspan="5">太鼓練習　30分</td><td>セクション<br>ミーティング2</td></tr>
<tr><td>13:00～<br>14:00</td><td>スポーツ・プログラム<br>音楽、アートプログラム</td><td colspan="2">スモール・グループワーク<br>ブレイン・ストーミング</td><td>グループ・ミーティング<br>エンパワメント・グループ</td></tr>
<tr><td colspan="7">14:00～　各役割作業時間とセルフ・ケア</td></tr>
<tr><td colspan="7">夕食</td></tr>
<tr><td colspan="7">19:30～21:00　自助グループ参加（NA・AA等）</td></tr>
</table>

## 主なプログラム概要

### グループ・ミーティング

アディクションは単に薬物、アルコール等を使用することだけではありません。使用に伴い、本人はもちろん周囲の人たちにも影響を及ぼします。アディクションから回復していく為には自身の内面に目を向ける必要があります。グループ・ミーティングは他者の話を見聞きし、自身の体験を話すことにより、どこが問題なのかを探っていきます。

ミーティングルーム

### FUJIOKARPP
(FUJIOKADARC RELAPSE PREVENTION PROGRAM)

このプログラムはもともと神奈川県立精神医療センターのせりがや病院にて開発された認知行動療法の一つで、主に薬物依存症を対象とした外来の治療プログラムです。当ダルクでは開発された先生方の協力を得てこのプログラムを行っています。小グループの中でテキストを用いながら、再使用を防ぐための知識を習得し、どのように行動を変えていくかを学んでいきます。

### エイサー・プログラム

沖縄の伝統芸能である琉球太鼓（エイサー）を学ぶことにより、心身の健康的な回復、向上を目指します。また地域の方々との交流を育み、慰問活動等の公演を通し入寮者に社会貢献の場を提供します。

エイサー公演

### 音楽・アートプログラム

このプログラムは、アディクションによって損なわれた想像性を取り戻すしていく為のものです。音楽を演奏する際の生理的、心理的、社会的な効果を応用するとともに、絵画、工作等を通し、自由な表現のなかで自分の内面と対話し表現力を育んでいきます。施設内には音楽スタジオ、DJブースも完備しています。

音楽スタジオ

### その他のプログラム

**アサーティブ・トレーニング**

自分の要求や意見を、相手の権利を侵害することなく、誠実に、率直に、対等に表現することを学びます。

**エンパワメント・グループ**

エンパワメント・グループは気づきのグループです。他の参加者からの質問やフィードバックを通して、自分一人の考えでは知ることのできなかった考え方や感じ方、そして対処の仕方に目を向けることができます。

**感染症予防教育**

専門家を招いてHIV、C型肝炎等について正しい知識の習得、性感染の予防について学びます。

**レクリエーション／スポーツ**

利用者のリクエストに応じ、毎月温泉や食べ放題等に行きます。また、季節ごとに、餅つきや川遊び、ボウリング大会、ソフトボール大会、映画鑑賞、その他イベントがたくさんあります。施設内にはトレーニングルームもあり常時使用できます。

※プログラムは他にもたくさんあります。毎年アップデートされており、利用者の回復に必要と思われるものを常に提供しています。

## 施設写真

DJブース

庭

居室

トレーニングルーム

## 通所施設〈AREA高崎〉

藤岡ダルクでは特に生活訓練が必要な方に対して、当施設と提携をしているAREA高崎に通所していただいています。ダルクは男性のみの入寮型施設ですが、AREA高崎は男女問わず通所することが可能です。リハビリを考えているが入寮は難しいという方にお薦めです。

詳しくは藤岡ダルクまたはAREA高崎まで直接お問い合わせください。

AREA高崎は障害福祉サービス(自立訓練・生活訓練)を行う施設です。それぞれの能力に応じ生活上の機能や行動の訓練、必要な医療並びに日常生活のサポートを行うことで、自立した生活を営むことが出来るようにし、利用者の方に対し社会への復帰及び参加を目指します。


AREA
Addiction Recovery Empowerment Approach
TAKASAKI

**一般社団法人 AREA　AREA(エリア)高崎**
〒370-3525 群馬県高崎市三ツ寺町67-35　**TEL.027-388-8971**
**e-mail: area-takasaki@hotmail.com**

# 就労継続支援B型事業所Will(ウィル)

〒162-0055 東京都新宿区余丁町14-4　AICビル1F　NPO法人アパリ内
TEL.03-5925-8874／FAX.03-5925-8984
e-mail：contact@apariwill.onmicrosoft.com

## 施設概要

入口外観

Willは、社会への「出口」支援として福祉的就労機会を提供する事業所です。依存症当事者の方が社会参加や就労・自立生活を目指す段階でのサポートを、当事者スタッフが中心となって行います。

入寮型リハビリ施設や病院、生活訓練施設の後、次のステップとして、依存症当事者が地域社会につながり可能な範囲で自立に向けていくための作業機会・プログラム・その他支援を提供しています。

依存症者には、依存症以外に併存する障害を抱えていて、社会での居場所確保が困難な方も多く存在します。こうした場合においても、利用者それぞれのタイプに応じたリカバリーの形を模索しながら、社会参加への支援を行っていきます。

また、Willと同建物内には協力医療機関であるアパリクリニックがあり、依存症外来やメンタルヘルス外来等、医療ケアをワンストップで利用することもできます。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 利用定員 | 20名(男女とも利用可能) | 休業日 | 日曜日・祝日・年末年始 |
| 営業日 | 月曜日～土曜日 | 提携医療機関 | 医療法人社団アパリ アパリクリニック |
| 営業時間 | 9:00～16:30 | 利用料 | 世帯の収入状況によって変動<br>(住民税非課税世帯は無料) |
| サービス提供時間 | 通常　9:20～15:30<br>(最大　9:00～16:00) | 食事提供 | あり(1食あたり200円自己負担にて提供) |

## サービス内容

- 就労機会、生産活動その他の機会の提供(雇用契約なし)
- 就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練
- 依存症者向けの専門的な支援、その他の必要な支援

相談室兼多目的室

訓練・作業室

## 主な作業概要

### 施設内作業

- 部品やアクセサリー等の組立、加工、製作
- NPO法人アパリ内業務の作業補助

### 施設外就労

- 清掃作業(ホテル換気扇・コインランドリー・クリニック等)
- 近隣寺院での除草作業

### 園芸&自主製品

- 花や植物を活用した自主製品の企画、製造、販売

## 主なプログラム

- ミーティング
- 認知行動療法(SMARPP)
- 当事者研究
- 生活習慣改善プログラム
- 個別課題へのプログラム
- その他必要なプログラム

### 提携ナイトケア施設

### Wellness House板橋

アパリでは、Will通所のための生活拠点がない方に向けて、個室を完備した寮「Wellness House板橋(男性限定)」を設けています。

**入居利用料概要**

月額(税込)：10.5万円(入居初月費別途)＋生活費預り金5万円
(生活保護受給者は生活保護の範囲で利用可能)

**見学や体験利用のご相談、ご質問等は以下までお問い合わせください**

**TEL.03-5925-8874**
e-mail：contact@apariwill.onmicrosoft.com

# お問い合わせ先・アクセス

## NPO法人アパリ

〒162-0055 東京都新宿区余丁町14-4　AICビル1F
TEL.03-5925-8848／FAX.03-5925-8984

**https://apari.or.jp**
**e-mail: info@apari.or.jp**

受付対応時間（月曜日～金曜日）10:00～18:00

**アクセス**

**電車の場合**▶都営新宿線 曙橋駅 A2出口より徒歩7分
都営大江戸線 若松河田駅 河田口より徒歩7分

## 藤岡ダルク

〒375-0047 群馬県藤岡市上日野2594
TEL.0274-28-0311／FAX.0274-28-0313

**https://www.fujiokadarc.com**
**e-mail: fujiokadarc@hotmail.co.jp**

受付対応時間（月曜日～金曜日）10:00～18:00

**アクセス**

**電車の場合**▶JR高崎線 新町駅より 車で40分
※JR新町駅まではJR上野駅よりJR高崎線で約1時間30分

**自動車の場合**▶関越道 練馬インターチェンジより約1時間30分
藤岡インターチェンジ出口より約30分

## AREA高崎

〒370-3525 群馬県高崎市三ツ寺町67-35
TEL.027-388-8971

**e-mail: area-takasaki@hotmail.com**

受付対応時間（月曜日～金曜日）9:00～17:00
（土曜日）9:00～12:00

**アクセス**

**電車の場合**▶JR高崎駅西口より関越交通高崎線
群馬温泉行バスで約25分
バス停「新堀」下車 徒歩6分

**自動車の場合**▶JR高崎駅西口より国道17号と県道25号（渋川街道）経由で約25分

## アパリ会員入会のご案内

アパリの活動・運営資金へのサポートをお願いいたします。
アパリの活動の目的に賛同して入会していただいた方は正会員に、事業に賛助くださり入会いただいた方を賛助会員とします。

### ■ 入会申し込み方法 ■

**年会費**

正 会 員　12,000円　　賛助会員　6,000円
郵便振替または現金書留にてお支払いください。

**郵便振替口座**

口座番号：00170－0－616579
加入者名：NPO法人アパリ

### ■ 特 典 ■

定期的に（2ヵ月に1度）アパリが発行する会報「フェローシップ・ニュース」をお送りします。
また、書籍の割引購入や公開講座・フォーラム等の情報提供など様々な特典がございます。

APARI
ASIA-PACIFIC ADDICTION RESEARCH INSTITUTE

ご相談・お問い合わせは


## NPO法人アパリ

〒162-0055 東京都新宿区余丁町14-4　AICビル1F
TEL.03-5925-8848／FAX.03-5925-8984
https://apari.or.jp
e-mail: info@apari.or.jp